

問1 景気が後退している状況において、日本銀行が買いオペレーションを実施した場合、市場の利子率（金利）と企業の経済活動にはどのような変化が起きると期待されますか。その因果関係を説明したものととして適切なものを選びなさい。（2023年 神奈川県公立入試 類似）

立入試 類似

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 市場の通貨量が増えることで利子率が下がり、企業は資金を借りやすくなって設備投資を増やす | 2. 市場の通貨量が増えることで利子率が上がり、企業は将来のインフレに備えて生産を縮小する | 3. 市場の通貨量が減ることで利子率が上がり、企業の借金が減るため経営状態が改善する | 4. 市場の通貨量が減ることで利子率が下がり、デフレが解消されて企業の売上が増加する |
|--|---|--|--|

問2 日本の金融システムにおいて、銀行が家計から預金を集め、それを企業や個人へ貸し出すことで利益を得る仕組みについて、最も適切な説明を選びなさい。（2016年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 家計に支払う預金の利子率を、企業などへ貸し出す際の利子率よりも低く設定することで、その差額を利益としている。 | 2. 家計に支払う預金の利子率を、企業などへ貸し出す際の利子率よりも高く設定することで、預金者を増やす工夫をしている。 | 3. 預金の利子率と貸し出しの利子率は法律で同等に定められており、銀行は仲介手数料のみを利益としている。 | 4. 中央銀行から無利子で借り入れた資金をそのまま企業に貸し出し、企業からの寄付金を主な利益としている。 |
|---|---|--|--|

問3 銀行は家計から預金として集めた資金を、資金を必要とする企業などに貸し出しています。このとき、銀行の主な収益源となる「利ざや」が発生する仕組みについて、正しく説明しているものはどれですか。（2024年 神奈川県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 銀行が貸出先から受け取る貸出金利を、預金者に支払う預金金利よりも高く設定する。 | 2. 銀行が預金者に支払う預金金利を、貸出先から受け取る貸出金利よりも高く設定する。 | 3. 預金金利と貸出金利を同等に設定し、預金の総額が増えることによって利益を得る。 | 4. 中央銀行から支払われる補助金を、預金者に利子として分配した残りを収益とする。 |
|--|--|---|---|

問4 企業が「直接金融」によって資金を調達しようとする際、投資家に対して発行されるものの組み合わせとして適切なものはどれか。（2022年 愛知県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|----------|-----------|-----------|
| 1. 株式と債券 | 2. 預金と貯金 | 3. 手形と小切手 | 4. 税金と補助金 |
|----------|----------|-----------|-----------|

問5 景気が過熱し、物価が持続的に上昇することによって通貨の価値が相対的に下落する現象を何と呼ぶか。また、その現象が起きた際の消費者への影響について述べたものとして正しい組み合わせを選びなさい。（2018年 神奈川県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. インフレーションと呼ばれ、同じ金額の通貨で買える商品の量が少なくなるため、実質的な貨幣の価値は下落する | 2. インフレーションと呼ばれ、同じ金額の通貨で買える商品の量が多くなるため、実質的な貨幣の価値は上昇する | 3. デフレーションと呼ばれ、同じ金額の通貨で買える商品の量が少なくなるため、実質的な貨幣の価値は下落する | 4. デフレーションと呼ばれ、同じ金額の通貨で買える商品の量が多くなるため、実質的な貨幣の価値は上昇する |
|--|---|---|--|

問6 個人などの資金の出し手が銀行などの金融機関に預金を行い、その金融機関が企業などの資金の借り手に貸し出しを行う金融の仕組みを何といいますか。（2017年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 直接金融 | 2. 間接金融 | 3. 消費者金融 | 4. 公定歩合 |
|---------|---------|----------|---------|

問7 日本銀行は「中央銀行」として、一般の銀行とは異なる特別な役割を担っています。このうち、民間の金融機関との間でのみ資金の貸し出しや預金の受け入れを行う役割を何と呼びますか。（2020年 鳥取県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|----------|---------|----------|
| 1. 銀行の銀行 | 2. 政府の銀行 | 3. 発券銀行 | 4. 企業の銀行 |
|----------|----------|---------|----------|

問8 日本銀行がインフレーションを抑制するために金利を上げる「金融引き締め」を行った場合、その影響として予測される社会の動きについて述べたものとして正しいものはどれですか。（2024年 北海道公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 住宅ローンの金利が上昇するため、住宅を購入しようとする個人が減り、不動産市場の過熱が収まる。 | 2. 銀行の預金金利が下がるため、人々は貯蓄をせずに消費を増やすようになり、景気がさらに良くなる。 | 3. 企業の利息負担が軽くなるため、新しい工場や機械を導入する設備投資が活発になり、雇用が増加する。 | 4. 円の価値が相対的に低くなるため、輸出企業の国際競争力が高まり、日本からの輸出額が大幅に増加する。 |
|---|---|--|---|

答え合わせ・解説

- 問1** **答え 1**
市場の通貨量が増えることで利子率が下がり、企業は資金を借りやすくなって設備投資を増やす
- 日本銀行が買いオペレーションを行い市場の通貨量が増えると、資金の供給が需要を上回るため、お金を借りる際のコストである「利子率」が低下します。利子率が下がれば、企業は低い利息で銀行から資金を借りて新しい工場を建てたり、機械を導入したりする（設備投資）といった経済活動を行いやすくなります。これにより、社会全体の経済活動が活発になり、不景気からの脱却が図られます。
- 問2** **答え 1**
家計に支払う預金の利子率を、企業などへ貸し出す際の利子率よりも低く設定することで、その差額を利益としている。
- 銀行は「金融仲介機関」として、資金が余っている家計などから「預金」としてお金を集め、資金を必要としている企業や個人に「貸し出し」を行います。このとき、預金者に対して支払う利子の率（預金金利）よりも、貸出先から受け取る利子の率（貸出金利）を高く設定することで、その差額（利ざや）を主な収益源としています。手数料も利益の一部ではありますが、この金利差による収益が銀行経営の根幹を成しています。
- 問3** **答え 1**
銀行が貸出先から受け取る貸出金利を、預金者に支払う預金金利よりも高く設定する。
- 銀行は、資金が余っている家計などから「預金」を受け取り、その資金を必要としている企業などに「貸し出し」を行う金融仲介の役割を担っています。銀行の収益の柱は、貸し出した相手から受け取る利子（貸出金利）と、預金者に支払う利子（預金金利）の差額です。この差額を「利ざや」と呼び、銀行が安定して経営を行うためには、受け取る利子が支払う利子を上回っている必要があります。
- 問4** **答え 1**
株式と債券
- 直接金融の具体的な手段として、企業は出資の証となる「株式」や、借入金の証となる「債券（社債）」を発行します。投資家はこれらを購入することで、企業の活動資金を提供します。一方、預金や貯金は、銀行などの金融機関が仲介する「間接金融」に関連する用語です。
- 問5** **答え 1**
インフレーションと呼ばれ、同じ金額の通貨で買える商品の量が少なくなるため、実質的な貨幣の価値は下落する
- 物価が上昇するということは、以前と同じ量の商品を手に入れるためにより多くの通貨を支払わなければならないことを意味します。この現象をインフレーションと呼び、結果として「お金の重み」である貨幣の価値は、物価が上がる前と比べて相対的に低くなります。
- 問6** **答え 2**
間接金融
- 資金の出し手と借り手の間に銀行などの金融機関が介在する仕組みを間接金融と呼びます。個人は銀行に預金することで利子を受け取り、銀行はその預金を原資として企業へ貸し出しを行い、企業から利子を受け取ります。これに対し、企業が株式や債券を発行して投資家から直接資金を調達することを直接金融といえます。
- 問7** **答え 1**
銀行の銀行
- 日本銀行は、私たち個人や一般の会社と直接取引を行うことはありません。取引の相手を民間の銀行などの金融機関に限定し、銀行が資金不足に陥った際に融資を行ったり、銀行が保有する当座預金を預かったりすることから、銀行のための銀行という意味でこのように呼ばれます。なお、国の税金や予算を管理する役割は「政府の銀行」、紙幣を発行する役割は「発券銀行」と呼ばれ、これらは日本銀行の三大機能とされています。
- 問8** **答え 1**
住宅ローンの金利が上昇するため、住宅を購入しようとする個人が減り、不動産市場の過熱が収まる。
- 金利が上昇すると、お金を借りる際の手数料（利子）が高くなります。これにより、大きな買い物である住宅の購入を控える人が増えたり、企業が投資を縮小したりするため、景気が冷え込む方向に働きます。これは、上がりすぎた物価（インフレーション）を落ち着かせるための意図的な動きです。金利が上がれば通常、預金金利は上昇し、通貨（円）の価値は高まる傾向にあります。